

6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」

④ シラバス

ちゅうぎん『金融知力』講座 Part I			担当コーディネーター 坂入 信也 教授 非常勤講師（メンター）：森石 征人、田村 道明※、馬場 宏之	
Financial Literacy(Part I)				
履修年次：全	単位数：1	開講期： 3 学期	コマ数：1	連絡先：中国銀行広報CSRセンター TEL : 086-223-3111 Eメール： coordinate.chugin@okayama-u.ac.jp
【授業の目的】 受講者がお金をコントロールする知力(知識と活用能力)を習得し、日々の生活に役立てる。				
【授業内容】 毎回各テーマの専門家を迎え1回完結の講義を8回実施します。講義内容は社会生活に必要な基礎知識で構成し、「国家財政や公的年金制度の現状と今後の計画を知る」「悪徳金融の手口を知り、引っかけられない知恵を持つ」「さまざまな金融サービスの利便性と注意点を知る」といったテーマを扱います。講義以外の質問や相談は非常勤講師（メンター）がサポートします。				
【到達目標】 収入や財産は人それぞれ違うため、「大きな買い物をする」「将来のために貯蓄をする」といったことは、一人ひとりが自分の状況に応じて計画を立てる必要があります。この講座では、そういった人生計画に必要な知識を提供することで、受講者がお金をコントロールする知力（知識と活用能力）を習得することを到達目標とします。				
【授業計画】				
1	30.10.02.火	はじめに	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリエンテーション」：中国銀行 総合企画部 広報CSRセンター ・「就職活動の最新事情と会社員の金銭事情」 ゲストスピーカー：中国銀行 人事部 	
2	30.10.09.火	現実認識	<ul style="list-style-type: none"> ・「最近の経済・財政・金融情勢について」 特別講演：財務省 岡山財務事務所長 	
3	30.10.16.火	現実認識	<ul style="list-style-type: none"> ・「社会人基礎力」 ゲストスピーカー：岡山経済研究所 	
4	30.10.23.火	現実認識	<ul style="list-style-type: none"> ・「大学生と公的年金制度」 ゲストスピーカー：岡山県金融広報委員会金融広報アドバイザー 社会保険労務士 	
5	30.10.30.火	現実認識	<ul style="list-style-type: none"> ・「悪徳商法への対処と相談方法」 ゲストスピーカー：岡山県金融広報委員会金融広報アドバイザー 	
6	30.11.13.火	現実認識	<ul style="list-style-type: none"> ・「多重債務問題と金融経済教育」 特別講演：財務省 岡山財務事務所 総務課長 	
7	30.11.20.火	金融解説	<ul style="list-style-type: none"> ・「クレジットカードの利用方法と注意点」 ゲストスピーカー：中国銀行 営業企画部 	
8	30.11.27.火	金融解説	<ul style="list-style-type: none"> ・「住宅取得と住宅ローン」 ゲストスピーカー：中国銀行 営業統括部 	

6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」

【テキスト】 公的機関等が作成配布しているパンフレットや講師が作成したレジュメを使用します。（テキスト・教材費無料）
【参考図書】 特にありません。
【講義会場等】 ちゅうぎん駅前ビル4階会議室（JR岡山駅東口より桃太郎大通り徒歩5分。中国銀行岡山駅前支店の建物）駐車場、駐輪場はありません。会場建物内での飲食・喫煙はできません。開催日・講義時刻は 毎週火曜日 17:20～19:30 （祝日冬休みを除く）ですが、冬休みの設定は各大学の講義カレンダーと違う独自設定ですのでご注意ください。はしか・インフルエンザ等の感染拡大を防ぐため、感染者および学級閉鎖となった大学の学生に対して強制的に欠席を指示する可能性があります。本講義では受講者との連絡手段としてEメールを利用します。
【成績評価の方法】 出席点60%、レポート40%、受講態度・勉学意欲（±α）。公休および常習的な遅刻は出席日数には数えますが成績を減点します。公休認定は、個別に判断します。出席はシャトルカードの提出によりカウントします。 レポートは簡易な複数のテーマから1つを選びA4サイズで1枚1200字（40行）前後とします。 極端に短いレポートは減点します。また、他講座の内容・有名人の持論や出版物・インターネットからの引用中心のものは低く評価し、多少の用語の誤用があっても「自分の言葉」で自分の意見を展開しているものを高く評価します。 レポートは、Eメールに添付するかたちで、提出していただきます。
【注意事項】 本講座の岡山大学での正式講座名は「キャリア形成Ⅶ ちゅうぎん金融知力講座①」です。 ※は金融知力普及協会認定インストラクターです。

6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」

ちゅうぎん『金融知力』講座 Part II			担当コーディネーター 坂入 信也 教授 非常勤講師（メンター）：森石 征人、田村 道明※、馬場 宏之	
Financial Literacy (Part II)				
履修年次：全	単位数：1	開講期： 4 学期	コマ数：1	連絡先：中国銀行広報CSRセンター TEL : 086-223-3111 Eメール： coordinate.chugin@okayama-u.ac.jp
【授業の目的】 受講者がお金をコントロールする知力(知識と活用能力)を習得し、日々の生活に役立てる。				
【授業内容】 毎回各テーマの専門家を迎え1回完結の講義を8回実施します。講義内容は社会生活に必要な基礎知識で構成し、「さまざまな金融サービスの利便性と注意点を知る」といったテーマを扱います。講義以外の質問や相談は非常勤講師（メンター）がサポートします。				
【到達目標】 収入や財産は人それぞれ違うため、「大きな買い物をする」「将来のために貯蓄をする」といったことは、一人ひとりが自分の状況に応じて計画を立てる必要があります。この講座では、そういった人生計画に必要な知識を提供することで、受講者がお金をコントロールする知力(知識と活用能力)を習得することを到達目標とします。				
【授業計画】				
1	30.12.04.火	金融解説	<ul style="list-style-type: none"> ・「オリエンテーション」：中国銀行 総合企画部 広報CSRセンター ・「直接金融と間接金融、預金・個人向け国債・ミニ公募債について」 ゲストスピーカー：中国銀行 金融営業部	
2	30.12.11.火	金融解説	<ul style="list-style-type: none"> ・「貯蓄と投資の違い、株式投資の解説」 ゲストスピーカー：中国銀行 金融営業部	
3	30.12.18.火	金融解説	<ul style="list-style-type: none"> ・「明日から役立つ国際業務の知識」 ゲストスピーカー：中国銀行 国際部	
4	30.12.25.火	金融解説	<ul style="list-style-type: none"> ・「投資信託のしくみと具体的商品の解説」 ゲストスピーカー：中国銀行 金融営業部	
5	31.01.08.火	金融解説	<ul style="list-style-type: none"> ・「就職するとすぐ勧誘される生命保険の話」 ゲストスピーカー：中国銀行 金融営業部	
6	31.01.22.火	金融解説	<ul style="list-style-type: none"> ・「ネットバンキングの利用法と注意点」 ゲストスピーカー：中国銀行 営業企画部	
7	31.01.29.火	金融解説	<ul style="list-style-type: none"> ・「投信運用業とファンドマネージャーの仕事」 ゲストスピーカー：中銀アセットマネジメント株式会社	
8	31.02.05.火	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・「学生による授業評価アンケート」 ・「中国銀行役員による特別授業」 	

6. 大学コンソーシアム岡山コーディネート科目「ちゅうぎん『金融知力』講座」

【テキスト】 公的機関等が作成配布しているパンフレットや講師が作成したレジュメを使用します。（テキスト・教材費無料）
【参考図書】 特にありません。
【講義会場等】 ちゅうぎん駅前ビル4階会議室（JR岡山駅東口より桃太郎大通り徒歩5分。中国銀行岡山駅前支店の建物）駐車場、駐輪場はありません。会場建物内での飲食・喫煙はできません。開催日・講義時刻は 毎週火曜日 17:20～19:30 （祝日冬休みを除く）ですが、冬休みの設定は各大学の講義カレンダーと違う独自設定ですのでご注意ください。はしか・インフルエンザ等の感染拡大を防ぐため、感染者および学級閉鎖となった大学の学生に対して強制的に欠席を指示する可能性があります。本講義では受講者との連絡手段としてEメールを利用します。
【成績評価の方法】 出席点60%、レポート40%、受講態度・勉学意欲（±α）。公休および常習的な遅刻は出席日数には数えますが成績を減点します。公休認定は、個別に判断します。出席はシャトルカードの提出によりカウントします。 レポートは簡易な複数のテーマから1つを選びA4サイズで1枚1200字（40行）前後とします。 極端に短いレポートは減点します。また、他講座の内容・有名人の持論や出版物・インターネットからの引用中心のものは低く評価し、多少の用語の誤用があっても「自分の言葉」で自分の意見を展開しているものを高く評価します。 レポートは、Eメールに添付するかたちで、提出していただきます。
【注意事項】 本講座の岡山大学での正式講座名は「キャリア形成Ⅶ ちゅうぎん金融知力講座②」です。 ※は金融知力普及協会認定インストラクターです。